

## 群馬大学「育み育てる女性研究者支援：「繭玉（まゆだま）」プラン」

群馬大学は、荒牧（教育学部、社会情報学部）、昭和（医学部、生体調節研究所、附属病院）、桐生（理工学部）の3つのキャンパスからなる。各キャンパスで女性研究者が直面する現場の諸課題を捉え、キャンパス独自の特徴を活かしつつ、女性研究者支援をキーワードにこれを繋いで、女性が安心して仕事を継続、活躍できる組織を構築する。また、女性研究者の地域ネットワークを拡充することにより、裾野の拡大と地位向上を目指して、具体的サポートを提案し、実施する。

### 【推進体制】

学長直属の「男女共同参画推進委員会」において女性研究者の活動支援の方針の決定と実施結果の評価を行う。その下に「男女共同参画推進室」を置き、具体的な支援策の企画、提案、実施を行う。

### 【取組の内容】

#### (1) 機関全体としての女性研究者研究活動支援

- ① サポート体制と環境の整備：研究と育児等のライフイベントを両立できる職場作り
  - ・ 短時間勤務制度の利用促進 ホームページや紹介冊子による学内制度の情報発信
  - ・ 保育・介護サポートの整備 両立支援アドバイザー、コーディネーター(社会福祉士)の配置
  - ・ 研究支援体制の整備 女性研究者研究助成の配分と研究力アップセミナーの開催
- ② 意識啓発と情報発信:次世代と地域に繋げるネットワーク作り
  - ・ 情報交流の拠点となるコミュニティ「まゆだま広場」を3キャンパスに確保
  - ・ ホームページの開設・情報誌「まゆだま通信」、「まゆだま情報 CLIP」の発行による広報活動
  - ・ メンター制度「シルクネットワーク」と相談の場の提供
  - ・ 大学内外の女性研究者ネットワークの構築 「まゆだまランチミーティング」の開催
  - ・ オープンキャンパス等を利用した高校生への啓発 理系分野の学生や大学院生の活躍を紹介
  - ・ 学生への啓発 ロールモデルの提示や女子学生のためのキャリアデザイン講座等の実施
  - ・ 教職員へのセミナーなど ワーク・ライフ・バランス講座やハラスメント研修の実施
  - ・ 意思決定の場への女性の参画推進 平成 26 年度 副学長・副学府長・特命病院長補佐を任命

#### (2) 研究活動を支援する者の配置

- ・ 「男女共同参画推進室」における専任コーディネーターの確保(継続に向けて常勤講師として採用)
- ・ 各キャンパス「まゆだま広場」に窓口となる専任職員を配置
- ・ 両立支援アドバイザーによる3キャンパスの出張相談を実施
- ・ 研究活動支援制度の構築 平成 26 年度は 30 名の研究者(男性 5 名含む)に研究活動支援者を配置

### 【達成目標】

- (1)女性研究者増員の数値目標 在職比率 14.7%から 1.7 ポイント増の 16.4%を目標とする。
- (2)自然科学系分野特に理工学部における女子学生及び女子大学院生の比率の増加
- (3)休暇を取得しやすい雰囲気・育児休業取得者の増加
- (4)「くるみんマーク」の取得
- (5)地域連携ネットワークの形成

---

【連絡先】 国立大学法人 群馬大学 男女共同参画推進室

TEL : 027-220-7146 FAX : 027-220-7143 E-mail : kyodo-sankaku@jimu.gunma-u.ac.jp

URL : <http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/>

